

令和2年 丹波小学校 学校評価（教職員自己評価）の結果と考察について

評価基準 A：そう思う B：ややそう思う C：ややそう思わない D：そう思わない
 評価点数 A：4点 B：3点 C：2点 D：1点

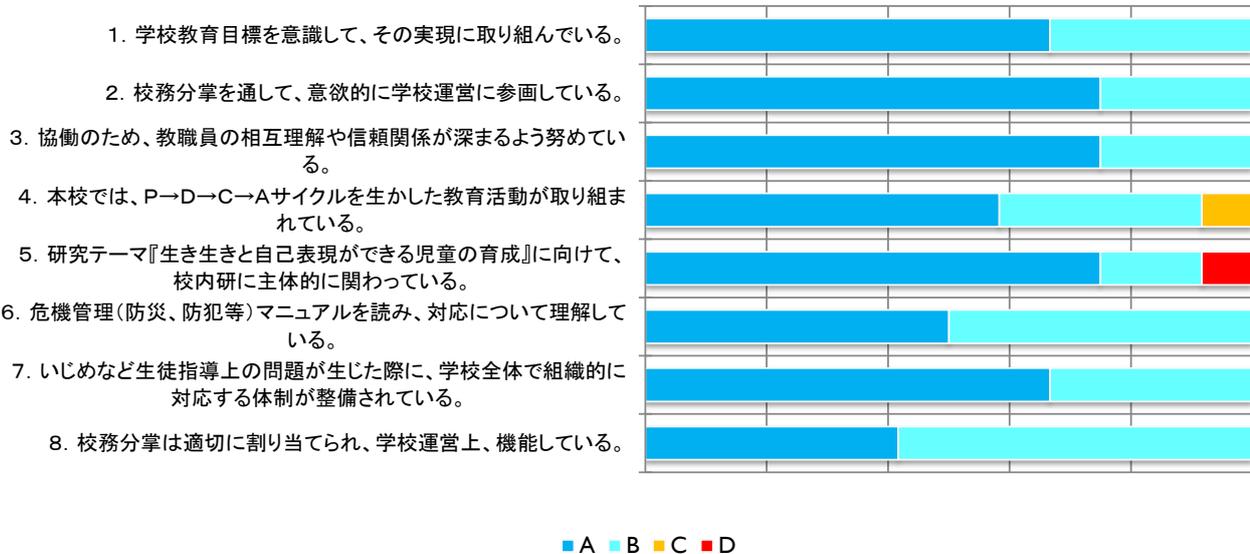
12名回答

I 学校運営・学校経営

具体的評価項目	A	B	C	D	評価
1. 学校教育目標を意識して、その実現に取り組んでいる。	8	4	0	0	3.7
2. 校務分掌を通して、意欲的に学校運営に参画している。	9	3	0	0	3.8
3. 協働のため、教職員の相互理解や信頼関係が深まるよう努めている。	9	3	0	0	3.8
4. 本校では、P→D→C→Aサイクルを生かした教育活動が取り組まれている。	7	4	1	0	3.5
5. 研究テーマ『生き生きと自己表現ができる児童の育成』に向けて、校内研に主体的に関わっている。	9	2	0	1	3.6
6. 危機管理（防災、防犯等）マニュアルを読み、対応について理解している。	6	6	0	0	3.5
7. いじめなど生徒指導上の問題が生じた際に、学校全体で組織的に対応する体制が整備されている。	8	4	0	0	3.7
8. 校務分掌は適切に割り当てられ、学校運営上、機能している。	5	7	0	0	3.4

I 学校運営・学校経営

0% 20% 40% 60% 80% 100%

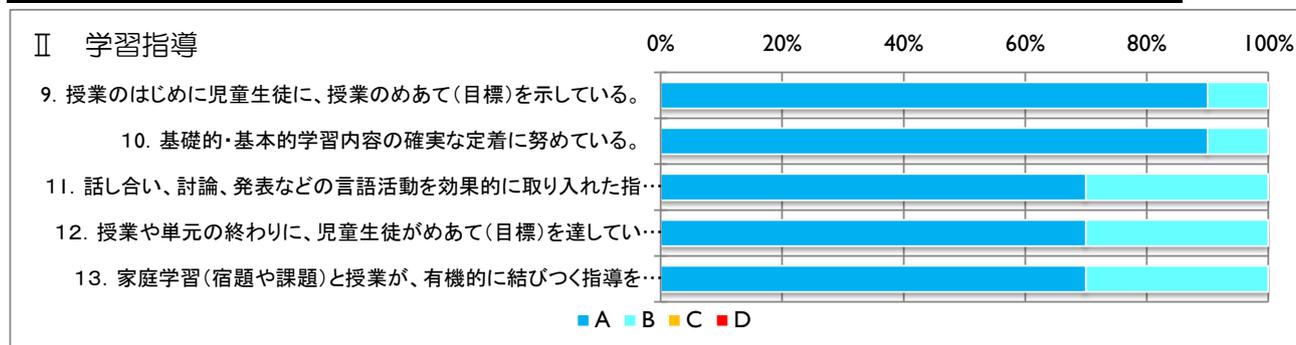


○自己評価（達成状況・改善策）

学校運営・学校経営については、すべての項目で高評価である。本校では、教職員が一丸となり、学校教育目標達成に向けて、学校経営方針に基づいた多様な取組をPDCAサイクルを意識して実践していることを示していると考えられる。さらに、2. 3. の項目や7. の項目からは、本校の全教職員がチームとなって「協働」する大切さを理解し、職員間の連携を意識しながら、「報・連・相・確」の実践等一人ひとりが取り組んでいることもわかる。今後も、連携・協働を進めることで、より一層の同僚性を高め、学校の活性化を図っていくようにしたい。また、校務分掌についても、学校運営上、適切に機能しているといえる。危機管理については、引き続き大きな災害等の危険性も高い地域なので、学校安全計画や消防・防災計画などを用いて、取り組んでいく必要性を感じている。

Ⅱ 学習指導

具体的評価項目	A	B	C	D	評価
9. 授業のはじめに児童生徒に、授業のめあて（目標）を示している。	9	1	0	0	3.9
10. 基礎的・基本的学習内容の確実な定着に努めている。	9	1	0	0	3.9
11. 話し合い、討論、発表などの言語活動を効果的に取り入れた指導を行っている。	7	3	0	0	3.7
12. 授業や単元の終わりに、児童生徒がめあて（目標）を達しているかを確かめるまとめや「振り返り」の過程を設けている。	7	3	0	0	3.7
13. 家庭学習（宿題や課題）と授業が、有機的に結びつく指導を行っている。	7	3	0	0	3.7

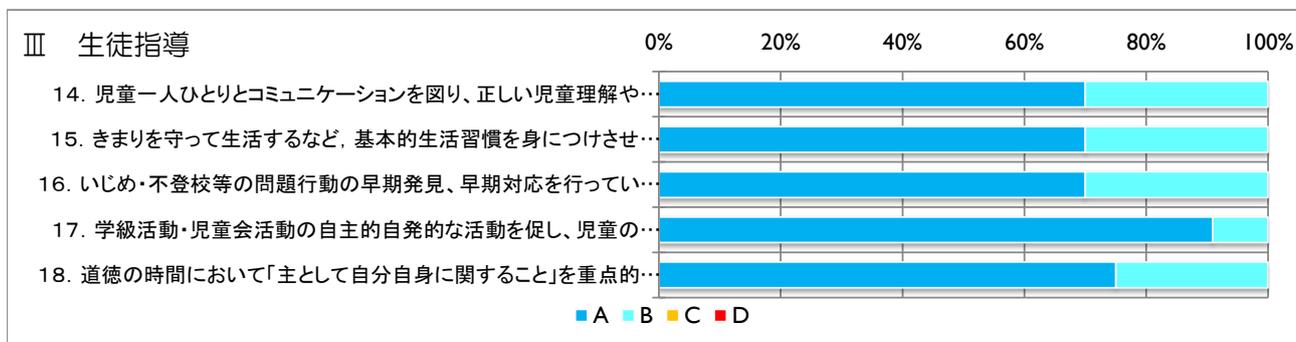


○自己評価（達成状況・改善策）

学習指導についても、すべての項目で、高い評価である。9. の授業のめあてを示すことや、10. の基礎基本の確実な定着については、約9割の教職員がそうしていると回答し、山梨スタンダードを意識した授業づくりへ取り組んでいることがわかる。また、13. の家庭学習についても、授業内容と結び付け、授業内容の定着を図ろうと取り組んでいることが示された。11. 言語活動を効果的に取り入れた指導や、12. の児童が目標を達成しているかを確かめるまとめや「振り返り」の過程を設けていることへの評価が高い。今後は、さらに言語活動の充実や振り返りの過程を、教職員が意識的に多く取り入れ、工夫をしていく必要がある。13. 家庭学習については、さらに保護者との連携を図り、学力向上の一助となるようにしていきたい。

Ⅲ 生徒指導

具体的評価項目	A	B	C	D	評価
14. 児童一人ひとりとコミュニケーションを図り、正しい児童理解や共感的理解に努めている。	7	3	0	0	3.7
15. きまりを守って生活するなど、基本的生活習慣を身につけさせるように努力している。	7	3	0	0	3.7
16. いじめ・不登校等の問題行動の早期発見、早期対応を行っている。	7	3	0	0	3.7
17. 学級活動・児童会活動の自主的自発的な活動を促し、児童の「心の居場所づくり」となる学校、学級づくりに努めている。	10	1	0	0	3.9
18. 道徳の時間において「主として自分自身に関すること」を重点的に扱っている。	6	2	0	0	3.8

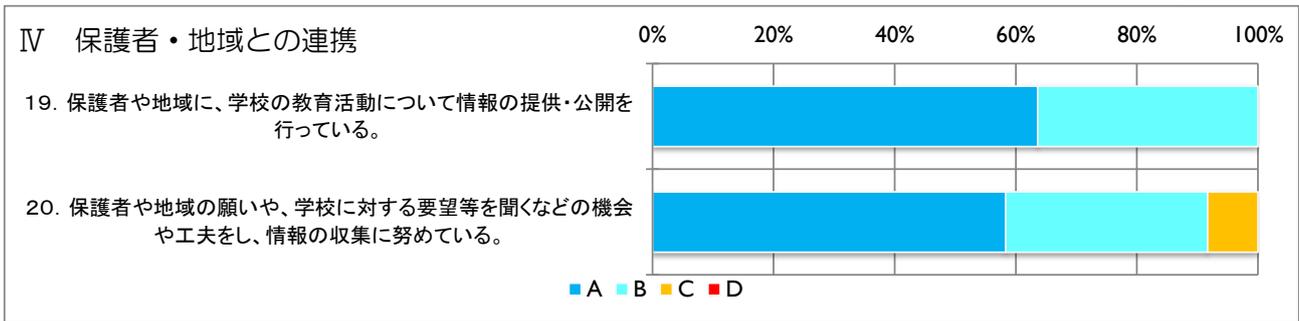


○自己評価（達成状況・改善策）

生徒指導においても、すべての項目で高い評価である。14～18の項目は、全教職員が、そう思う、またはややそう思うと回答している。これは、児童一人ひとりとコミュニケーションを大切にしながら児童理解、共感的理解に努めていること、いじめや不登校等の問題行動に対しても早期発見・早期対応を行っていることがわかる。また、基本的生活習慣の確立や、学級活動や児童会活動等自主的・自発的な活動を促し、学校や学級が心の居場所となるような指導も、十分に心がけていることが示されている。18. 道徳の時間においても高い評価となり、道徳の時間における話し合いや、自分への振り返りを工夫して指導していることが伺える。今後も、自分自身に関することを重点的に、道徳の時間の充実に努めていきたい。

IV 保護者・地域との連携

具体的評価項目	A	B	C	D	評価
19. 保護者や地域に、学校の教育活動について情報の提供・公開を行っている。	7	4	0	0	3.6
20. 保護者や地域の願いや、学校に対する要望等を聞くなどの機会や工夫をし、情報の収集に努めている。	7	4	1	0	3.5

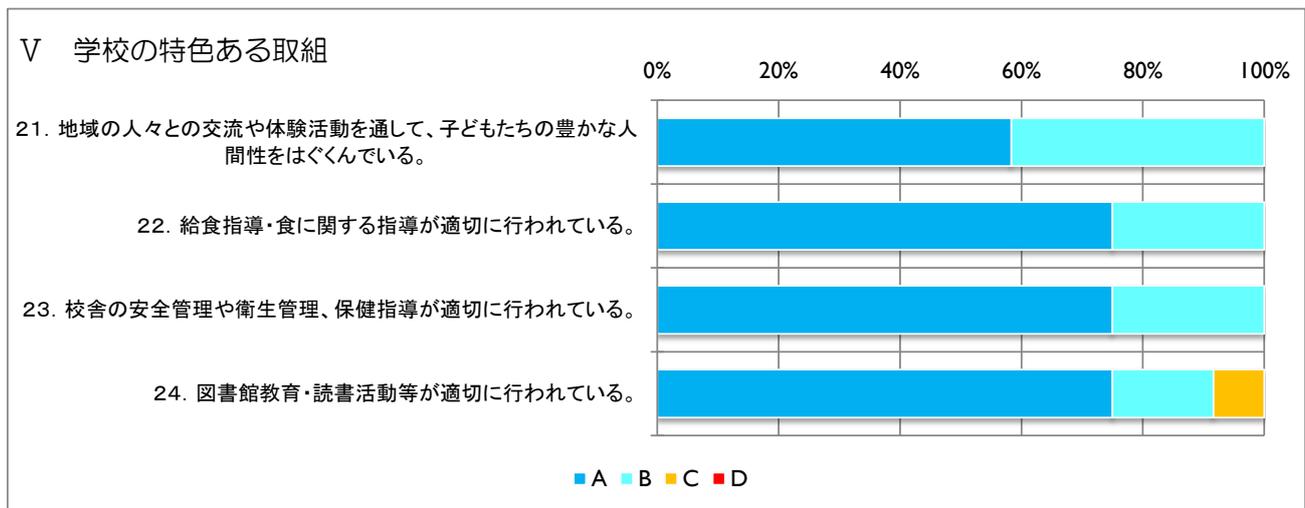


○自己評価（達成状況・改善策）

保護者・地域との連携においても、どちらの項目も高い評価である。19. 20. の情報提供や情報公開、情報収集については、教職員が意欲的に、学級通信等を作成し、情報を発信していることがわかる。また、保護者や地域の願いや要望を聞く機会も工夫し、情報収集にも努めているという点については、新型コロナウイルスの関係で行事等が中止になったが、書面決議等で総会を行ったり、できるだけ工夫して情報収集を行ったりするよう努めた。

V 学校の特色ある取組

具体的評価項目	A	B	C	D	評価
21. 地域の人々との交流や体験活動を通して、子どもたちの豊かな人間性をはぐくんでいる。	7	5	0	0	3.6
22. 給食指導・食に関する指導が適切に行われている。	9	3	0	0	3.8
23. 校舎の安全管理や衛生管理、保健指導が適切に行われている。	9	3	0	0	3.8
24. 図書館教育・読書活動等が適切に行われている。	9	2	1	0	3.7



○自己評価（達成状況・改善策）

学校の特色ある取組においても、高い評価である。特に、22. 給食指導・食に関する指導については、栄養教諭を中心とした給食指導のあらわれだと考える。23. 安全管理や衛生管理、保健指導については、古い校舎ではあるが、修繕等を行うことで安全管理や保健指導についても、担当を中心に適切な指導や管理がされている結果である。24. の図書館教育・読書活動については、朝読書の時間や読み聞かせをするなど、子どもたちの読書への興味関心をもたせる工夫をこらしている。

VI その他(自由記述)